

★ベネズエラへの干渉を拒否＝コービン英労働党党首

ジェレミー・コービン英労働党党首は2月1日、ベネズエラへの介入とマドゥーロ政権への制裁は「間違っている」とのべ、「ベネズエラの未来を決める権利はベネズエラ人だけが持っている」と強調した。

同党首は1日ツイッターで「ベネズエラ人の未来はベネズエラ人の問題だ。ハント英外相によるベネズエラ制裁強化のよびかけは間違っている」と言明した。

同党首がベネズエラ政治情勢についてのべるのは初めてで、「米国であれ、他のどの国からであれ、ベネズエラへの外部からの干渉に反対だ。対話と交渉による解決で危機を克服する必要がある」とのべた。

コービン氏は長根にわたって、外交の立場として不干渉原則を唱え、政治、社会運動では早くからの反戦活動家として知られている。

(2/1 テレスル)